

# わなんれん

平成12年7月5日 **第20号**  
和歌山県難病団体連絡協議会  
【事務局】  
那賀郡那賀町  
森田良恒

## 第15回JPC総会 全国から79名の評議員参加で開催 》》》JPCは変わります《《《

6月4日 豊島区立勤労福祉会館

毎年、国会請願とセットで組まれて開催されていた総会が、衆議院解散のあおりを受けて総会参加者が若干少なくなったなかで開催されました。

伊藤たてお代表幹事から「昨年の難病患者・日本一周激励マラソンでは各地域で温かく歓迎していただき、全国の患者が一つになる貴重な体験をさせていただきました」と挨拶があり、議事では99年度の活動報告・決算報告が承認されました。

今年度の活動の重点目標として、以下の5項目が提案され承認されました。

### 1. 新しい運動形態を目指す

- 激励マラソンから学んだことや、その成果を生かす活動をすすめる。
- 患者会の持っている力を発揮できる目標・運動形態・組織作りを目指す。

### 2. JPCへの期待と要求に応える運動を

- 「要求」「交流」「情報提供」を重点とし「調査」「研究」能力を高める
- スピード感のある活動

### 3. 全国の患者・家族団体運動の総結集を目指す

- 医療保障と福祉の充実に関する願いを格とした全国の患者・家族団体運動の総結集を目指す

### 4. 財政の確立

- すべての加盟団体の自覚と参加、協力による財政の確立を目指す。  
直近の決算の1%以上を各団体が協力しましょう。

### 5. 当面する具体的な課題

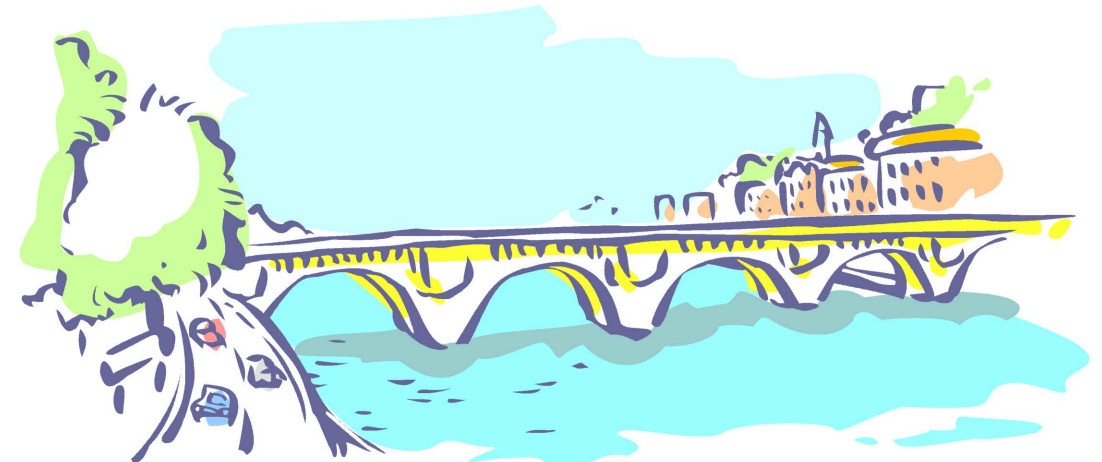
- JPCへの期待、要求とは何か、についての討論と調査の企画。
- 活動家の育成、患者会活動のすすめ方、患者運動の未来を探るセミナーを開催
- 政治の理解を求めて各党懇談会の開催。
- 会議の縮小と交流の活発化。

- 九州、四国、中国・近畿、中部・北陸・東海、関東・甲信越、東北・北海道の6ブロックに分け、ブロック交流会の開催。
- 事務所の独立と事務局の強化。
- 機関誌「JPCの仲間」と「事務局ニュース」の位置づけを明らかにし、発行体制の強化。

また事務局からは、JPCの財政面を大きく担ってきた家庭雑貨販売は業績不良から業者が撤退し、予算的には事務所積立金の取り崩しによる歳入補填がおこなわれるなど、財政の建て直しが急務であることも示され、協力会員の増強が不可欠であると訴えました。

なおJPCの新年度役員が下記のように決定しました。

代表幹事	伊藤たてお (北海道難病連)	財政、政策担当
事務局長	小林 孟史 (全腎協)	政策、渉外担当
常任幹事	山崎 洋一 (秋田県難病連)	財政担当
	有坂 登 (長野県難病連) 新	政策担当
	杉山 辰夫 (静岡県難病連)	事業担当
	濤 米三 (大阪難病連)	難病連担当
	森田 良恒 (和歌山県難病連) 新	難病連担当
	森沢 繁雄 (香川県難病連) 新	政策担当
	大中 幸雄 (鹿児島難病連)	難病連担当
	辻川 寿之 (全交災)	渉外担当
	高柳都美子 (もやの会) 新	会報担当
	青沼 三郎 (全脊柱連) 新	疾病担当
	青山 静可 (日喘連)	会計、会報担当



## JPC常任幹事会開催

◆◆◆新年度活動方針の具体化のために◆◆◆

平成12年7月1日～2日  
東京ホテル浦島(中央区晴海)

### <報告事項>

1. 第15回総会の総括  
・国会請願がセットされなかったので参加者が少なかった。
2. 協力会員の加入呼びかけ

#### JPC 日本患者・家族団体協議会 **協力会ご加入のお願い**

日頃より私たちの活動に温かいご理解とご協力とご支援をいただきましてありがとうございます。JPCは「人間の尊厳そして生命の尊厳がすべてにわたり、何よりも大切にされる社会」を願い、豊かな医療と福祉の拡充を求めて活動しています。

私たちの運動は、昨年行なった「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」を通して多くの方々に認知されてきています。内外の期待に応え、さらに大きく飛躍するため、活動をご理解いただき、財政的に援助して下さる方々を「協力会員」として広く募集しています。なお、ご加入いただいた方には、毎年抽選によりペアで海外研修に派遣しています。また加入者全員に機関誌「JPCの仲間」をお届けします。

▼協力会費 1口3,000円

▼郵便振込 加入者名 JPC事業部

口座番号 150-5-90655

3. 「日本一周マラソン」卓上カレンダーの販売

(前号既報)

#### メモリアルカレンダー販売

JPC版 一部500円

大きさ 左右14.7cm 上下17.5cm (写真の部分は絵はがきになります)

※写真・文字を入れ替え和難連オリジナルカレンダーも作ることはできますが、500組以上の申込で費用もかなり割高になります。(詳しくは事務局まで)

### <協議事項>

1. 研修会・セミナーの開催

- ・目的 次世代リーダーの担い手を育成
- ・日時 平成12年11月18日(土)～19日(日)
- ・会場 関東方面
- ・テーマ 21世紀の患者運動・若手活動家の育成
- ・形式 講演とディスカッション
- ・費用 各団体負担

2. 国会請願行動(臨時国会開期中)

- ・日時 平成12年11月20日(月)
- ・費用 各団体負担
- ・紹介議員の要請

※上記1. 2. は連日行事となるため各団体に参加要請を求める。  
参加動員規模は100名程度。

3. 来年度国会請願は従来どおり実施する。

「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願署名活動

4. 各党懇談会の開催

- ・日時 平成12年12月11日(月)
- ・時間 2時間程度
- ・会場 議員会館
- ・形式 各党代表が一堂に集まり、懇談・話し合いを中心として、難病に対する理解を求める。

5. ブロック交流会、疾病団体交流会の開催

- ・九州(担当 大中常任幹事) 8月中に宮崎方面で開催
- ・四国(担当 森沢常任幹事) 年度内開催
- ・中国近畿(濤、森田常任幹事) 10月28・29日、京都方面で開催

各行事の詳細は日程が決まり次第お知らせいたします。